

## 平成27年度第3回座間市地下水採取審査委員会会議録

- 1 日 時 平成27年11月12日(木) 午後3時～3時45分
- 2 場 所 座間市立図書館 講座室B
- 3 出席者  
委 員 守田委員長、村田副委員長、宮下委員、田原委員  
事務局 環境政策課長、環境保全係長、環境保全係主事2名
- 4 公開の可否  
公開 一部公開 非公開
- 5 傍聴人数 1人
- 6 議 題 リニア中央新幹線建設に係る地下水モニタリングについての要望書に対する東海旅客鉄道(株)の回答について(報告)
- 7 配布資料
  - ・中央新幹線(品川・名古屋間)建設に係る地下水モニタリングに関する要望書の提出について(建議)(資料1)
  - ・中央新幹線(品川・名古屋間)建設に係る地下水モニタリングについて(要望)(資料2)
  - ・中央新幹線(品川・名古屋間)建設に係る地下水モニタリングについて(回答)(資料3)
  - ・地下水保全システムメッシュ図(資料4)
  - ・地下水保全システムによる予測解析(資料5)
- 8 議事
  - (1) 開会のあいさつ(環境政策課長)
  - (2) リニア中央新幹線建設に係る地下水モニタリングについての要望書に対する東海旅客鉄道(株)の回答について(報告)
    - ア 事務局からの経緯報告

平成27年7月24日の平成27年度第2回座間市地下水採取審査委員会での審議を経て、平成27年8月11日に建議書(資料1)をいただきました。いただいた建議書をもとに要望書(資料2)を作成し、8月17日付で東海旅客鉄道株式会社に出しました。要望書で見解を9月25日までに文書で回答するよう求めたところ、9月17日に東海旅客鉄道株式会社から文書による回答(資料3)がありました。本日は資料3の内容について審議をお願いします。
    - イ 東海旅客鉄道(株)の回答(資料3)についての審議(○委員 ●事務局)
      - 東海旅客鉄道株式会社の回答はほとんど前回と同じである。これ以上は何を言っても同じ文書が返ってくると思われる。重要なのは東海旅客鉄道株式会社の説明に座間市地下水採取審査委員会委員が同席して、しっかり意見を言うことである。資料3では、座間市地下水採取審査委員会委員の同席について否定はしていない。委員同席は可能なの

か。また、委員同席について改めて要望する必要があるか。

- 東海旅客鉄道株式会社との日程調整の中で、委員が同席できるよう調整してまいります。
- 東海旅客鉄道株式会社の説明では事前に資料をもらえるのか。その場で初めて資料を見て意見を言うのは難しい。
- 東海旅客鉄道株式会社との調整の中で、強く要望してまいります。
- 工事のスケジュール等の情報があつたら、随時委員に伝えてほしい。
- 了解しました。

### (3) その他

#### ア 地下水保全システムを用いた予測解析の結果についての事務局からの報告

平成27年度第2回座間市地下水採取審査委員会にて宮下委員からご提案いただいた、当市の地下水保全システムを用いた予測解析の結果について報告します。当市の地下水保全システムは地下水解析ソフト「USGS MODFLOW」を使用した地下水位の予測システムです。本システムは当市、合併前の相模原市、大和市、海老名市、綾瀬市を対象範囲とし、対象範囲内の任意のメッシュに採取量を入力することにより、地下水位の予測解析を行うことができます。今回は中央新幹線建設により漏水が発生した場合を地下水揚水に置き換えて考え、予測解析を行いました。

(資料4、資料5について説明)

資料5の解析結果について、審議をお願いします。

#### イ 解析結果(資料5)についての審議(○委員 ●事務局)

- 地下水保全システムと平成20・21年度地下水総合調査の関係は。
- 地下水保全システムの解析モデルは、平成21年度地下水総合調査で構築したモデルを使っています。
- 相模原市の揚水量はどのように入力したのか。
- 平成20・21年度地下水総合調査で聞き取りができた事業所については聞き取った揚水量を入力し、聞き取れなかった事業所については、工業統計から推算した値を入力しました。
- 地下水保全システムのかん養量や透水係数の設定はどのようにされているか。
- 地下水保全システムの解析モデルは地下水位の再現性を確認したもので、信頼性のあるモデルである。
- 座間市域では地下水位が低下する予測にはならなかったことは、ある程度安心できる材料だが、一方で、ある程度地下水への影響があることも示している。ある程度地下水への影響があること、そして漏水による影響が定常状態に達するまでには数年の時間が掛かることから、地下水のモニタリングが重要になる。影響は上流から出てくることから、座間市がモニタリングを行うのはもちろん、相模原市もモニタリングを行うことが

必要になるので、投げかけてみるとよい。

- 平成27年度県央地域地下水保全ブロック会議で、リニア中央新幹線建設に伴う地下水モニタリングの情報共有について提案したいと考えています。
- 10年間平水年が続くという条件で解析を行っているが、地球温暖化の影響を考えると短時間の集中的な降水が増え、雨水が地下に浸透せず流出してしまい、かん養量が減少すると言われていることから、渇水年の解析もしたほうがよい。
- 了解しました。解析が完了したら、各委員に送付します。

(4) 閉会のあいさつ（環境保全係長）

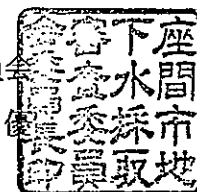


平成27年8月11日

座間市長 遠藤 三紀夫 殿

座間市地下水採取審査委員会

委員長 守田



中央新幹線（品川・名古屋間）建設に係る地下水モニタリングに関する要望書の  
提出について（建議）

平成27年度第2回座間市地下水採取審査委員会（平成27年7月24日開催）において、座間市の要望書（平成27年6月2日付座環発第11号）に対する東海旅客鉄道株式会社の回答（平成27年6月22日付中建環第38号）について審議した結果、東海旅客鉄道株式会社に下記のことを文書で要望することが適当であるとの結論を得たので建議します。

#### 東海旅客鉄道株式会社への要望事項

平成27年6月22日付中建環第38号に「モニタリングの調査地点、測定方法、時期・頻度などの内容については、今後、工事計画や施設計画を詳細に進めていく過程で、学識経験者等に意見を求めて策定し、貴市担当部局に説明いたします。」と記載されています。

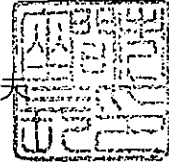
これを踏まえて、モニタリング計画について座間市担当部局に説明される際には、座間市担当部局職員に加えて、座間市地下水採取審査委員会委員の同席を要望します。

座環発第16号

平成27年8月17日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 柘植 康英 様

座間市長 遠藤 三紀夫



中央新幹線（品川・名古屋間）建設に係る地下水モニタリングについて（要望）

当市の要望書（平成27年6月2日付座環発第11号）に対する貴社の回答（平成27年6月22日付中建環第38号）について、下記の通り要望します。

つきましては、本要望に対する貴社の見解を伺いたく、平成27年9月25日までに文書で御回答くださいますようお願いいたします。なお、本要望は座間市地下水採取審査委員会委員長から提出された建議書に基づくものです。

貴社への要望事項

平成27年6月22日付中建環第38号に「モニタリングの調査地点、測定方法、時期・頻度などの内容については、今後、工事計画や施設計画を詳細に進めていく過程で、学識経験者等に意見を求めて策定し、貴市担当部局に説明いたします。」と記載されています。

これを踏まえて、モニタリング計画について当市担当部局に説明される際には、当市担当部局職員に加えて、座間市地下水採取審査委員会委員の同席を要望します。

事務担当 環境政策課環境保全係



中建環 第47号  
平成27年 9月17日

座間市長 遠藤 三紀夫 様

東海旅客鉄道株式会社  
中央新幹線推進本部

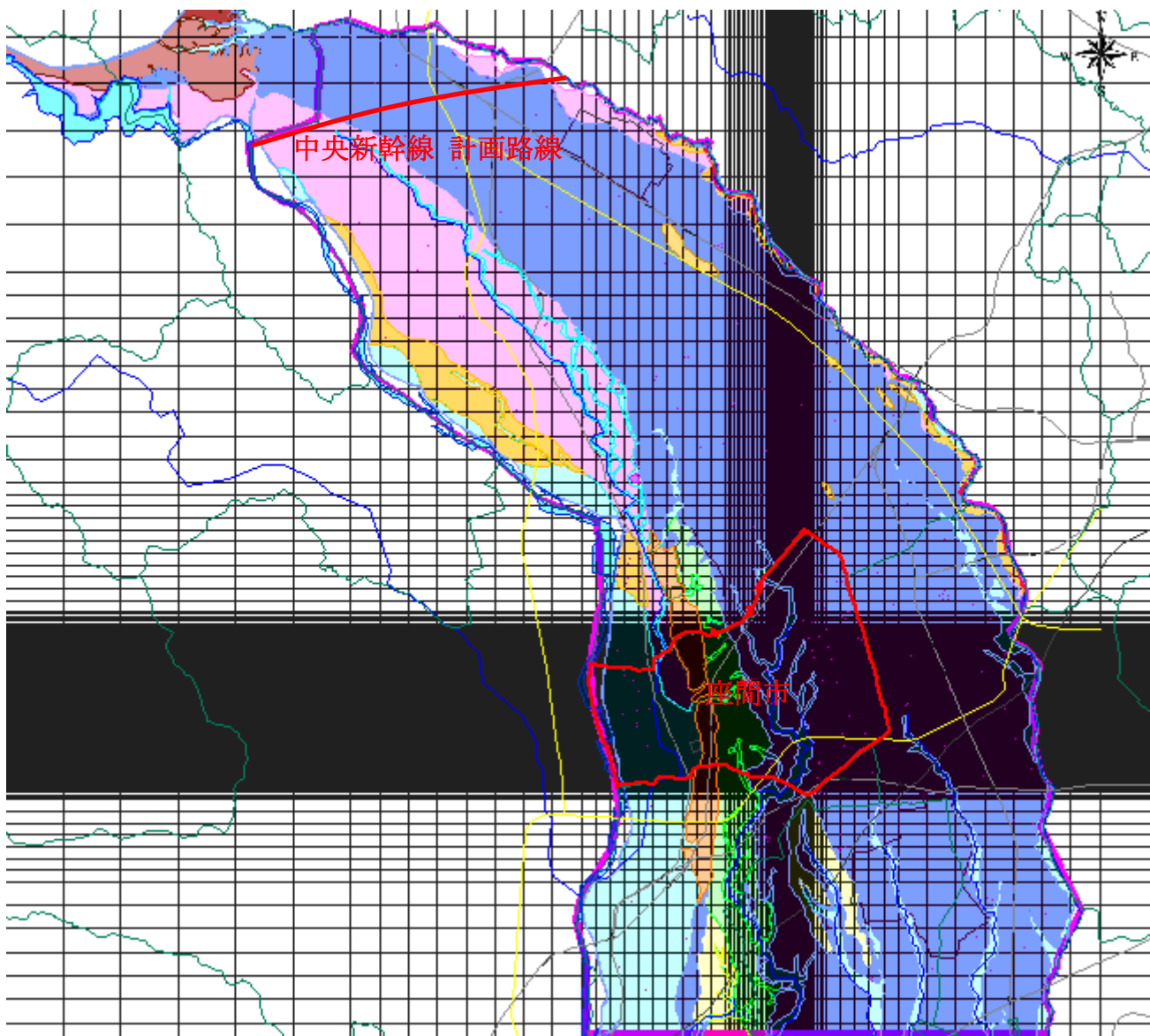
中央新幹線建設  
環境保全統括部  
部長 内田 吉彦



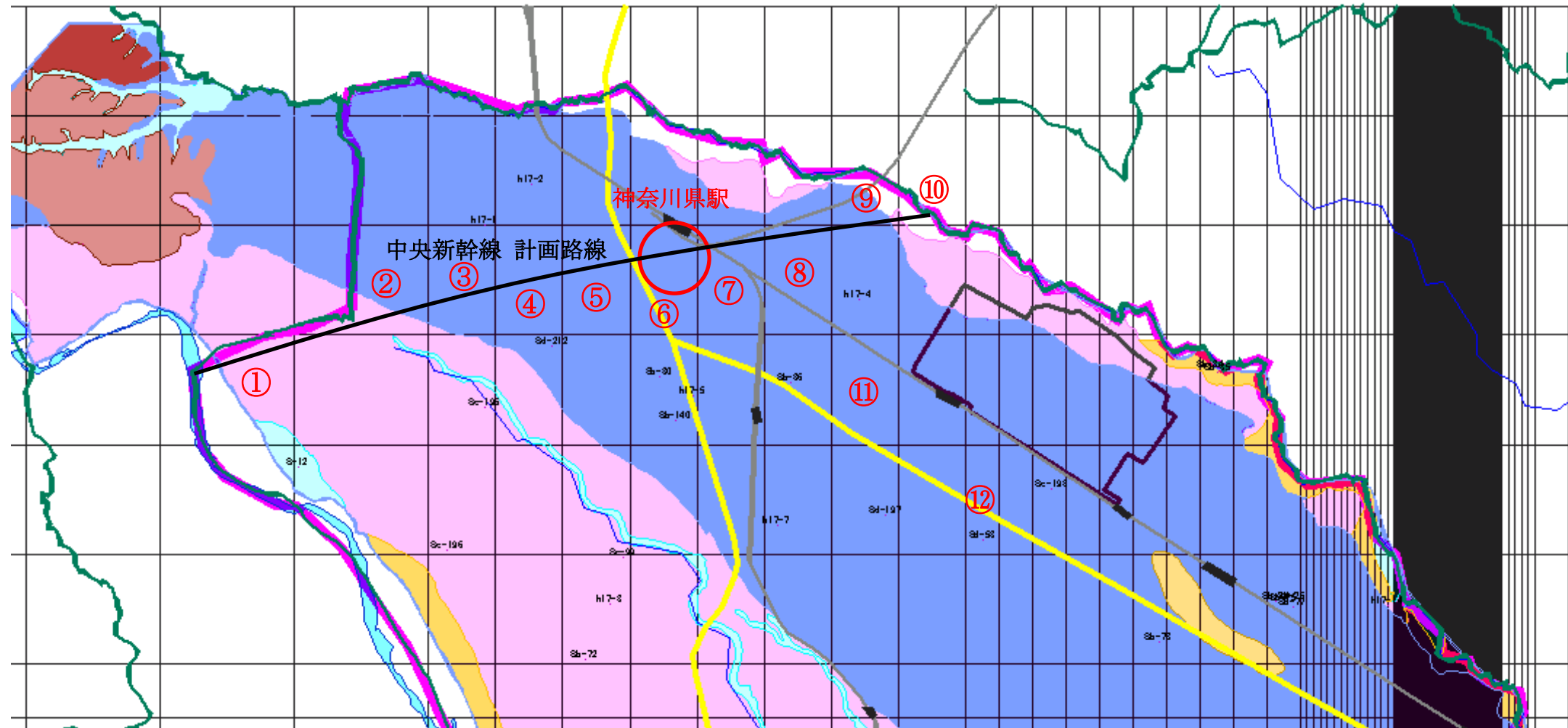
中央新幹線（品川・名古屋間）建設に係る地下水モニタリングについて（回答）

中央新幹線（品川・名古屋間）建設に係る地下水モニタリングにおいては、6月22日付でご回答させていただいた通り、環境管理を適切に行うため事業者が自主的に行うものであり、モニタリングの調査地点、測定方法、時期・頻度などの内容については、今後、工事計画や施設計画を詳細に進めていく過程で、事業者の責任において学識経験者等に意見を求めて策定することを考えております。これらの内容は、事前に貴市担当部局に対して丁寧に説明いたします。

地下水保全システム メッシュ図 (対象範囲全図)



地下水保全システム メッシュ図 (中央新幹線計画路線付近の拡大図)





## 地下水保全システムによる予測解析

地下水の漏出を揚水に置き換えて考え、地下水保全システムを用いて地下水位の予測解析を行った。

1 地下水保全システムの対象範囲のメッシュのうち中央新幹線が主に横断する10メッシュ(①～⑩)で下記の揚水が毎日行われ(他のメッシュの揚水は平成21年の揚水量)、その状況が継続した場合の10年後の地下水位を予測(かん養条件は平水年)

2 すべてのメッシュで平成21年と同じ揚水状況が継続した場合の10年後の地下水位を予測(かん養条件は平水年)

「1の地下水位－2の地下水位」を等高線図で表した。(単位はm)

## 揚水ケース

A 神奈川県駅予定地を含むメッシュ(⑥)で「平成21年の揚水量+1,000 m<sup>3</sup>/日」の揚水が行われ、他の9メッシュ(①～⑤、⑦～⑩)は平成21年と同じ揚水が行われた場合

B 全てのメッシュ(①～⑩)で「平成21年の揚水量+1,000 m<sup>3</sup>/日」の揚水が行われた場合

C 神奈川県駅予定地を含むメッシュ(⑥)で「平成21年の揚水量+10,000 m<sup>3</sup>/日」の揚水が行われ、他の9メッシュ(①～⑤、⑦～⑩)は平成21年と同じ揚水が行われた場合

D 神奈川県駅予定地を含むメッシュ(⑥)で「平成21年の揚水量+10,000 m<sup>3</sup>/日」の揚水が行われ、他の9メッシュ(①～⑤、⑦～⑩)は「平成21年の揚水量+1,000 m<sup>3</sup>/日」と同じ揚水が行われた場合

E 全てのメッシュ(①～⑩)で「平成21年の揚水量+10,000 m<sup>3</sup>/日」の揚水が行われた場合

また、揚水ケースEにおけるメッシュ⑥、⑪、⑫での地下水位変化を予測した。

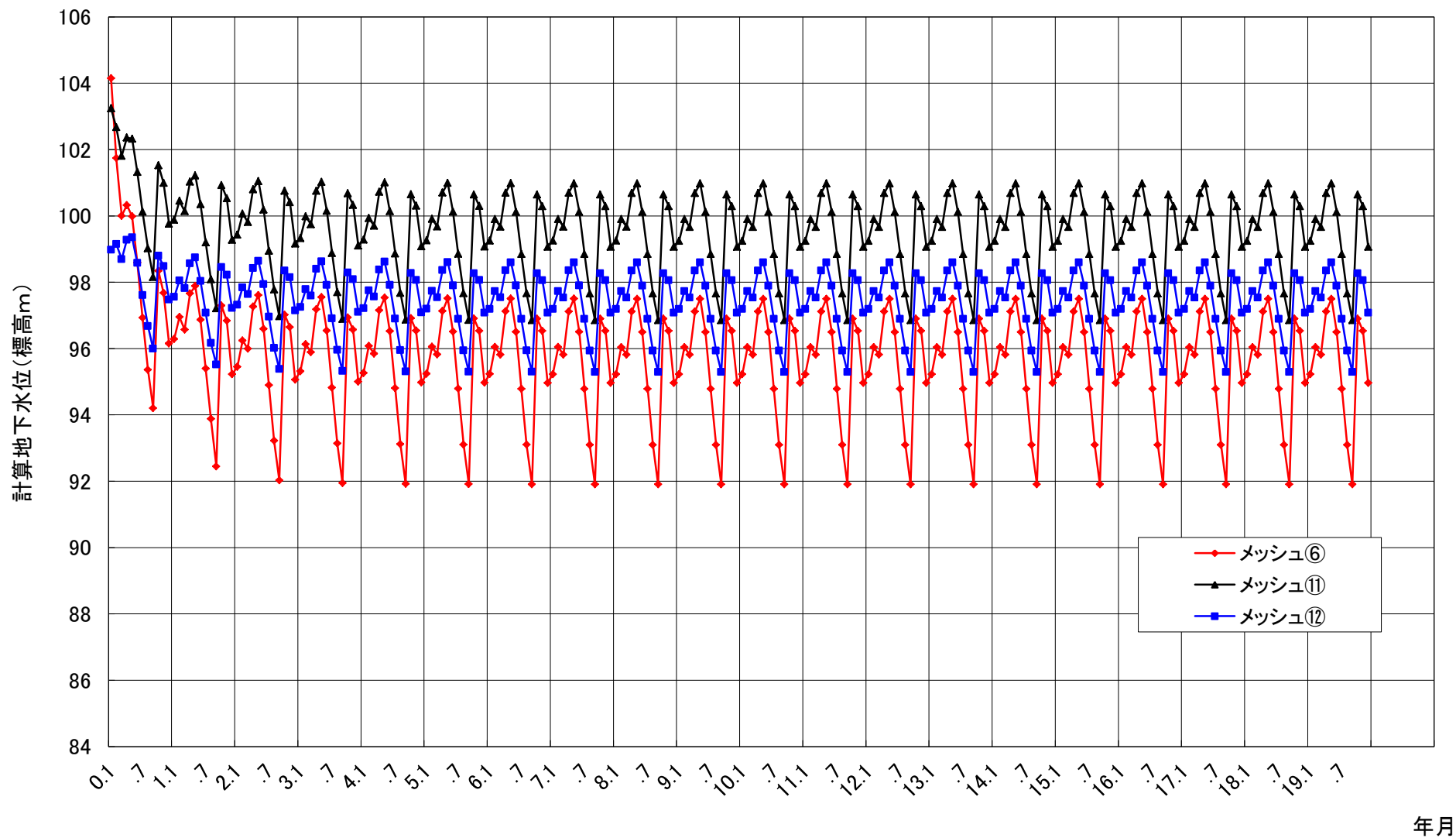
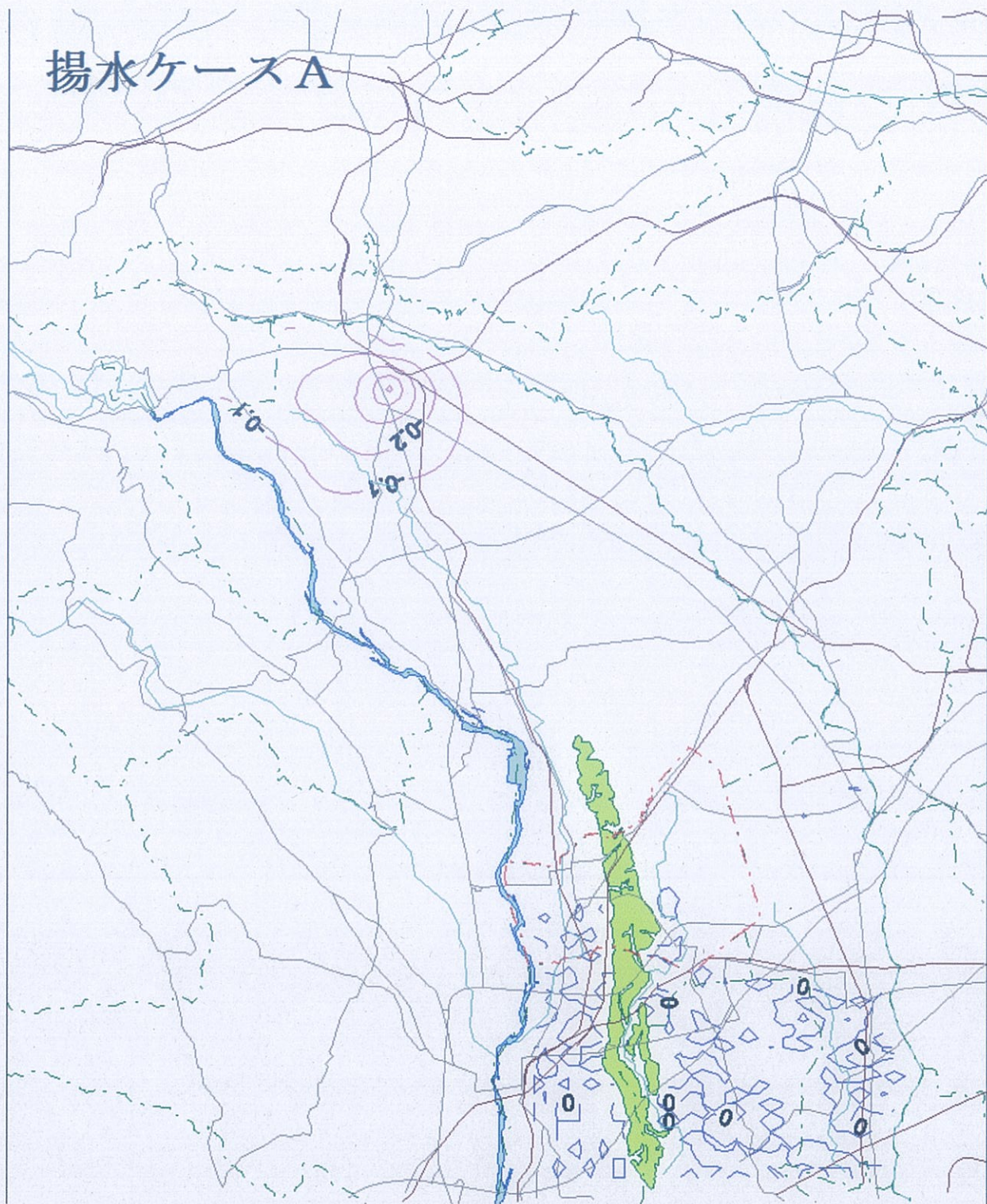
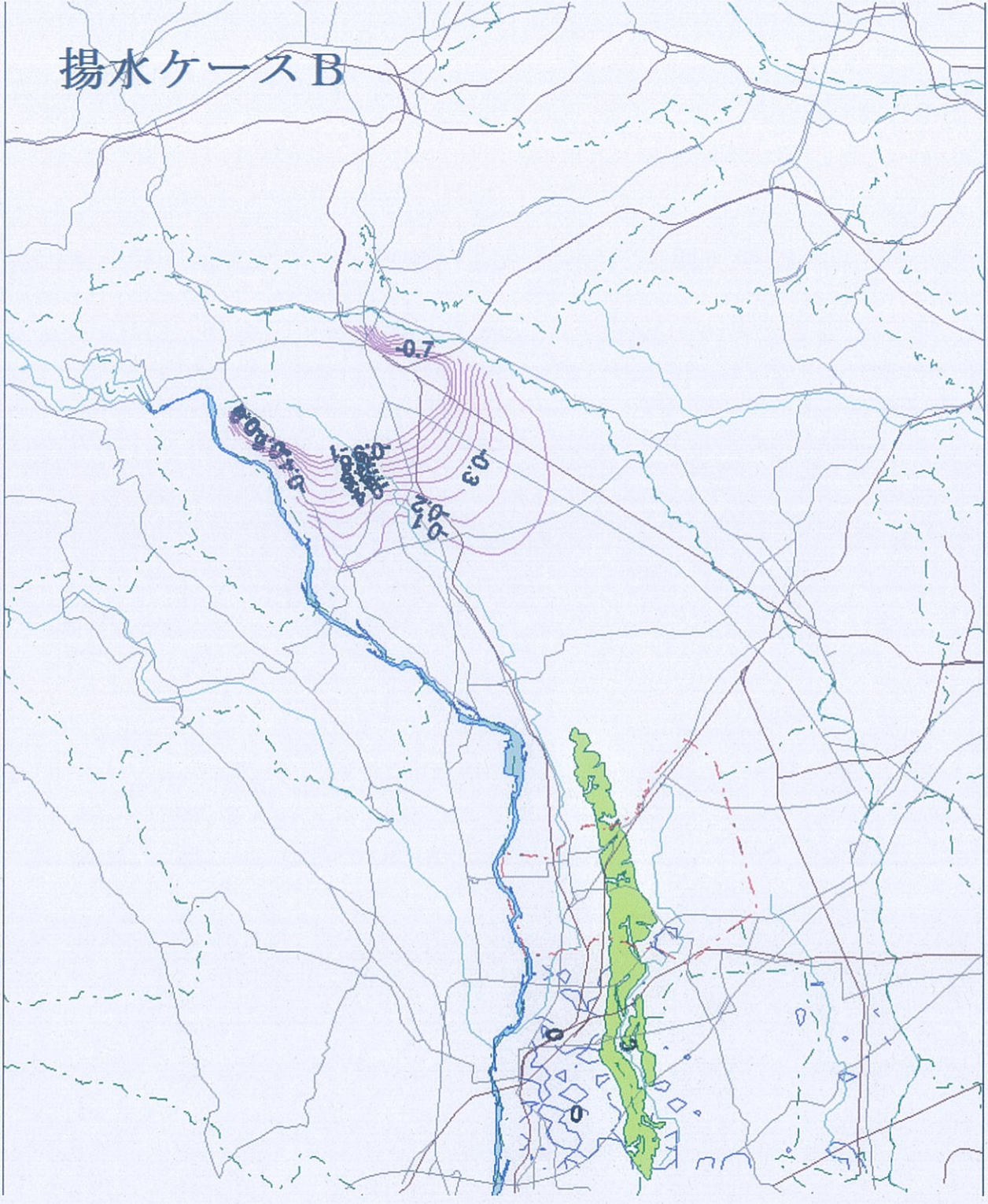


図 揚水ケースEにおける地下水位変化

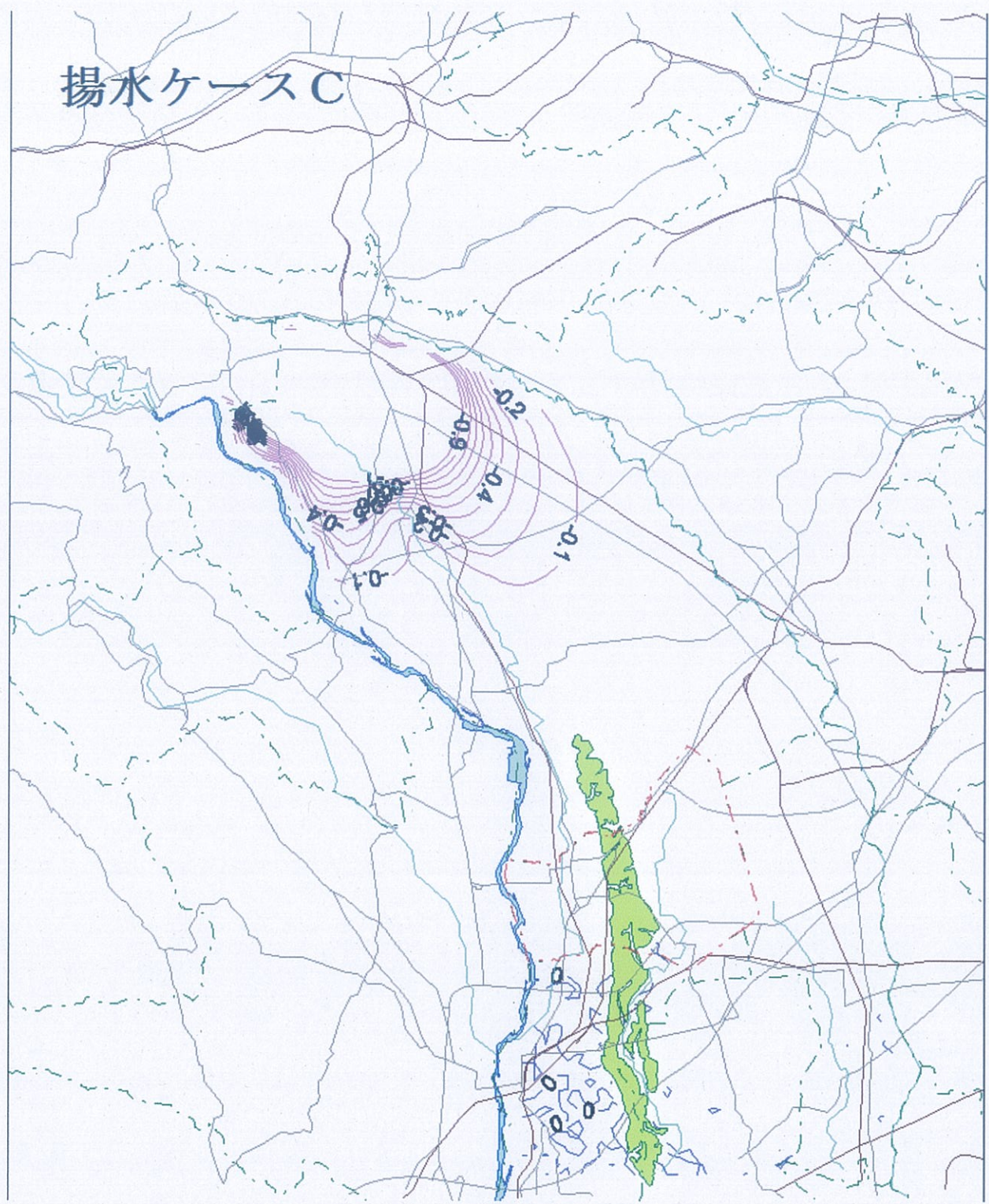
# 揚水ケースA



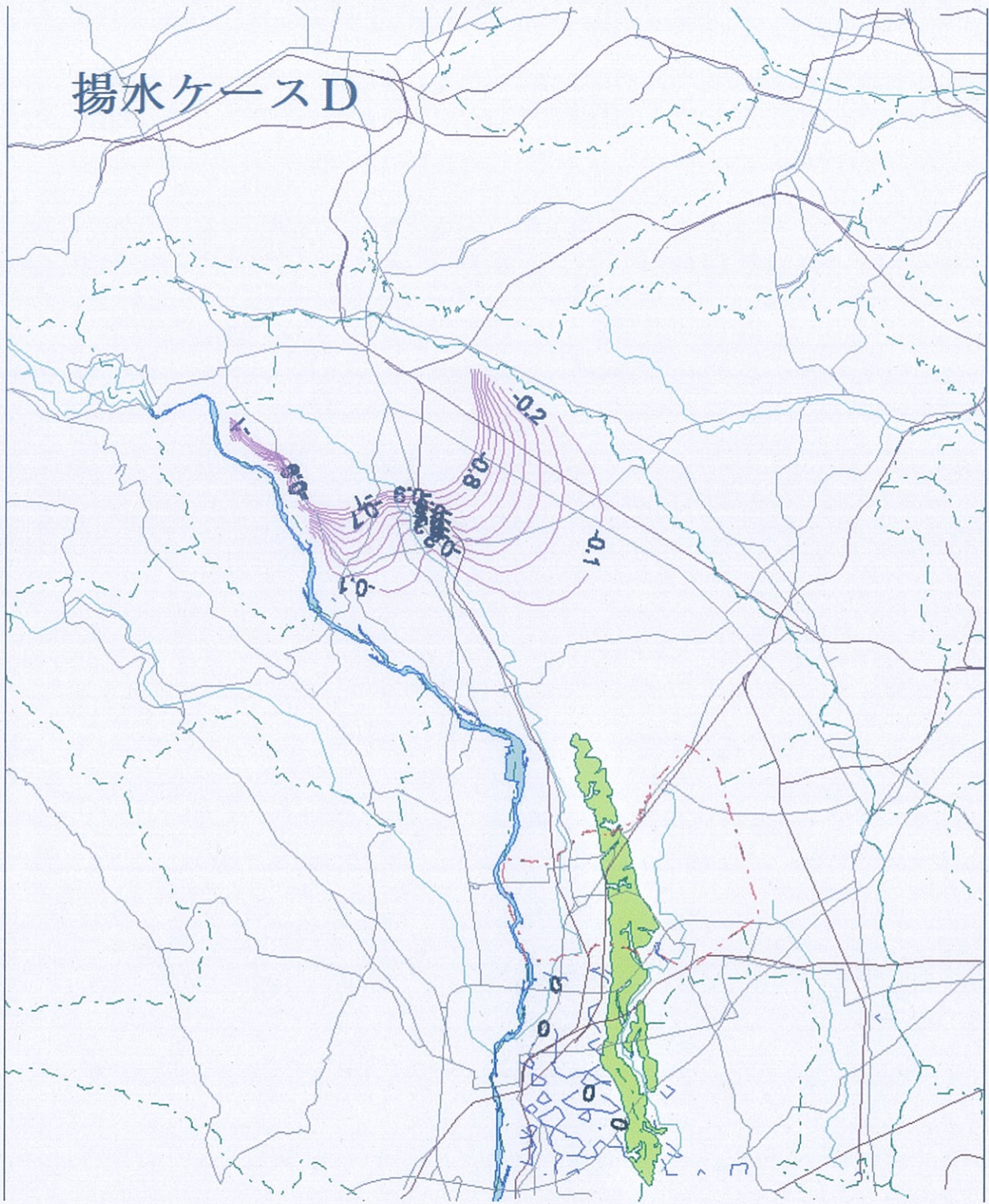
# 揚水ケースB



# 揚水ケースC



# 揚水ケースD



# 揚水ケース E

